

施工店様へのお願い ●施工前に必ずこの説明書をお読みください。

### 施工上のご注意

- VVFケーブルと通信ケーブルは、接触しないように配線してください。内線規程等に適合しなくなるだけでなく、伝送不良が発生する原因となります。
- ボックス取り付けの場合、アースターミナル付接地ダブルコンセントとテレビコンセントの間にWV2450 絶縁セパレータ(別売)など堅ろうな隔壁を、必ず取り付けてください。
- ボックスねじは0.4 N・mを超えて締め付けしないでください。取付枠の変形や破損の原因となります。
- 金属ボックスをご使用の場合は、ボックスにC種(特別第3種)接地工事が必要です。
- ボックスは奥行きが36 mm未満の場合は取付、配線ができません。
- 高シールドテレビターミナルは、電流通過容量を超えて使用しないでください。内部部品や他の接続機器の焼損や故障の原因となります。
- 同軸ケーブルの心線と編組線を短絡させないでください。内部部品や他の接続機器の焼損や故障の原因となります。
- LAN用モジュラジャックの施工には、当社指定の工具をご使用ください。適合しない工具を使うと接続端子を損傷することがあります。
- 1000BASE-T伝送に使用する場合、CAT5E対応ケーブルを使用してください。CAT5対応ケーブルを使用しますと伝送性能は、CAT5(100BASE-TX)となります。

### 高シールドテレビターミナル (電流通過形)

**内部回路図** 入力端子75 Ω (IN) 電流通過容量 AC 30 V 1 A以下 DC 15 V 0.8 A以下

**伝送周波数帯域** HF・FM・VHF・UHF・BS-IF・CS-IF 10 MHz～2602 MHz

**同軸ケーブルの加工**

- 1 段むきする (約13 cm)
- 2 編組線を折り返してリングを通す
- 3 コネクタを挿入する
- 4 リングをかしめ、心線を切断する

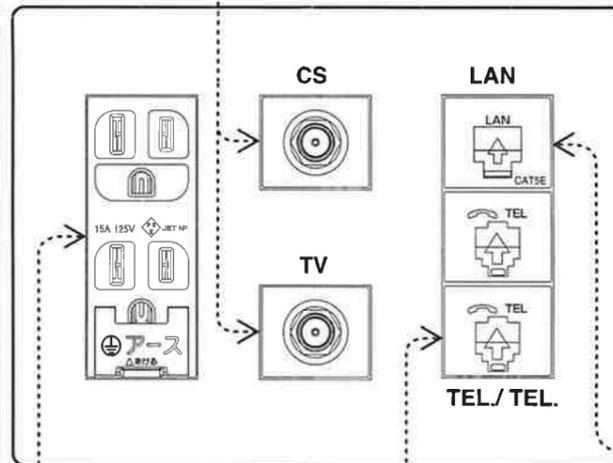
**適用電線** S-5C-FB

**心線を傷つけないように加工してください。**

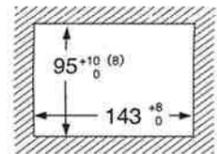
**ご注意** 心線が長すぎる場合は、短絡や端子内部が破損するおそれがあります。

**接続方法** F型接栓の適正締めトルク 1 N・m～2 N・m

**ボックスへの収納方法**



### 壁の穴あけ寸法



( ) 寸法は石膏ボード用はさみ金具を使用の場合

#### ボックスなし工事の場合

パネル壁や石膏ボード壁に直接取り付けの場合は、壁の板厚に合わせてはさみ金具(別売)(WN3990Kなど)をご使用ください。

#### ボックス工事の場合

スイッチボックスはJIS C 8340 3個用スイッチボックス(カバー付) 適合品をご使用ください。また、取付枠の沈込み防止のため、95°+90°にしてください。

### LAN用モジュラジャック (CAT5E)

■適用電線: AWG24～22(φ 0.5～φ 0.65) 単線及びAWG24より線の「CAT5E対応UTPケーブル」

- 1 キャップを本体からはずす ※できるだけ先端をつまんでください。
- 2 ケーブルの外被をむき、モジュラジャックに固定する 外被を50 mm程度むき、外被の先端を「ケーブル固定部」にはめこむ。注) 心線を傷つけないように外被をむいてください。
- 3 心線を溝に挿入する ラベルの表示色に合わせて挿入する。注) 燃りの中心を、溝の突起に押し当てて広げながら挿入する。燃りがきつい場合は、少し燃りを戻して挿入する。
- 4 心線を結線する ① キャップの先端工具でキャップの先端工具を使用する場合 心線を1本ずつ押し込む。② 余った線をニッパー等で切断する。
- 5 キャップを装着する 「カチッ」と音がするまで押し込む。注) キャップがしっかりと装着されていない場合は、キャップ先端工具で再度心線を十分に押し込んでください。

#### 当社指定工具

- ぐっと結線専用ツール(NR3521)
- インパクトツールは当社製NR2470 又は同等品(110端子用シングルタイプ)

**結線図**

T568A ①白・緑 ②白・赤 ③白・青 ④白・黄 ⑤白・紫 ⑥緑 ⑦茶 ⑧白・茶 ⑨白・青 ⑩白・黄

T568B ①白・緑 ②白・赤 ③白・青 ④白・黄 ⑤白・紫 ⑥緑 ⑦茶 ⑧白・茶 ⑨白・青 ⑩白・黄

**ご注意**

1. 8種以外のモジュラプラグを差し込まないでください。モジュラジャックのコンタクトはねを变形させるおそれがあります。
2. 再結線は10回以内にしてください。
3. ボックスに収納される際は、右図の様に電線を下に曲げながら収納してください。通信不良に至るおそれがあります。

### テレホンモジュラジャック (6極2心)

電気通信事業法によりこの器具の施工は、認定を受けた工事担任者でなければできません。

■適用電線 推奨電線 φ 0.5～φ 0.65 φ 0.4～φ 0.65 Cu(銅) 単線専用 ●2対電子ボタン電話用ケーブル ●2対カッド形PVC屋内線

■段むき寸法 10 mm 50 mm 心線 白(L) 青(L)

注) 心線を傷つけないように、被ふくをむいてください。

■結線図 ※端子表示はNTTT様標準(裏面端子側から見て)

■結線方法 1本ずつ奥までまっすぐ差し込む 注1) 曲がった心線はまっすぐに伸ばしてから、差し込んでください。注2) φ 0.4の電線をご使用の場合、電線が座屈しやすいので心線の近くを持ってまっすぐに差し込んでください。

■電線のはずし方 溝部をツメの先でまっすぐ上から底面まで押したまま、電線を引き抜く

### アースターミナル付接地ダブルコンセント

#### 安全上のご注意

#### 警告

- 結線するときは、電線を奥まで差し込む 差し込み不十分な場合、発熱するおそれがあり、焼損や火災の原因となります。
- 接地端子(裏面)に接地された電線を確実に結線する 結線および接地が不十分な場合、コンセントに接続された負荷機器が漏電したとき、感電の原因となります。
- アースターミナルには、単線とより線を同時に接続しない 異なる電線を同時に接続すると、使用中に電線が抜けるおそれがあり、漏電のとき感電などの原因となります。

#### 裏面 端子側(フル端子S)

- 適用電線 φ 1.6 φ 2 Cu(銅) 単線専用 より線にはWV2500棒型圧着端子をご使用ください。
- 結線方法 ① 12±2 mm ② 奥まで差し込む

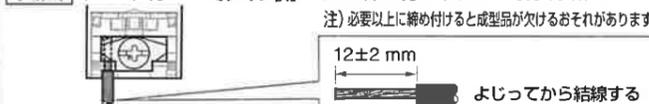
#### ●電線のはずし方 工具を使わず、電線を解除できます。



解除レバーを押し込みながら電線を引き抜く

解除レバーをドライバーで強くこじったり、回転させたりしないでください。解除レバーが破損する原因となります。

#### 表面 アースターミナル側 適正締め付けトルク: 0.8 N・m



注) 必要以上に締め付けると成型品が欠けるおそれがあります。 12±2 mm よじってから結線する

#### ■適用電線 1.25 mm<sup>2</sup>～2 mm<sup>2</sup>(コードおよびIVより線) φ 1.6 Cu(銅) 単線

●この製品はプラグをより奥まで差し込まないと通電しない構造です。検電のときは 検電ピンの長さが14 mm以上 厚み2 mm以下の 検電器をご使用ください。短いと導通を確認できない場合があります。